

【研究ノート】

県境をまたがる就業の状況

草間 一郎

はじめに

東京都市長会が平成18(2006)年11月にまとめた、多摩地区の市部を対象とした「広域連携の勧め」に、広域連携の背景として、①生活圏の広がり(住民の生活圏や行動範囲が一層広範囲になっている)、②広域的な行政テーマの存在、③効果と効率化が求められる自治体の3つがあげられている。

市町村の境界を越えた「広域行政」については、すでに昭和44(1969)年に「広域市町村圏」(概ね10万人の日常社会生活圏)が、そして昭和52(1977)年からは「大都市周辺地域広域行政圏」(40万人規模)が設定された。これらは平成3(1991)年から「広域行政圏」と総称されており、一部事務組合などの広域行政機構が設置されている。

境界自体を拡大する動きとしては、申請期限を平成16年度末とした合併特例法をひとつのインセンティブとして「平成の大合併」が進められた。

その後も、市町村を束ねる方向では、今年6月に閣議決定された「基本方針2008」に基づいて、東京一極集中に対する地方再生の取り組みとして、「中心市」と周辺市町村が協定して、役割分担により生活に必要な機能を確保する「定住自立圏構想」がスタートしている。

「広域」という言葉は、さまざまな広さで使われ、「国

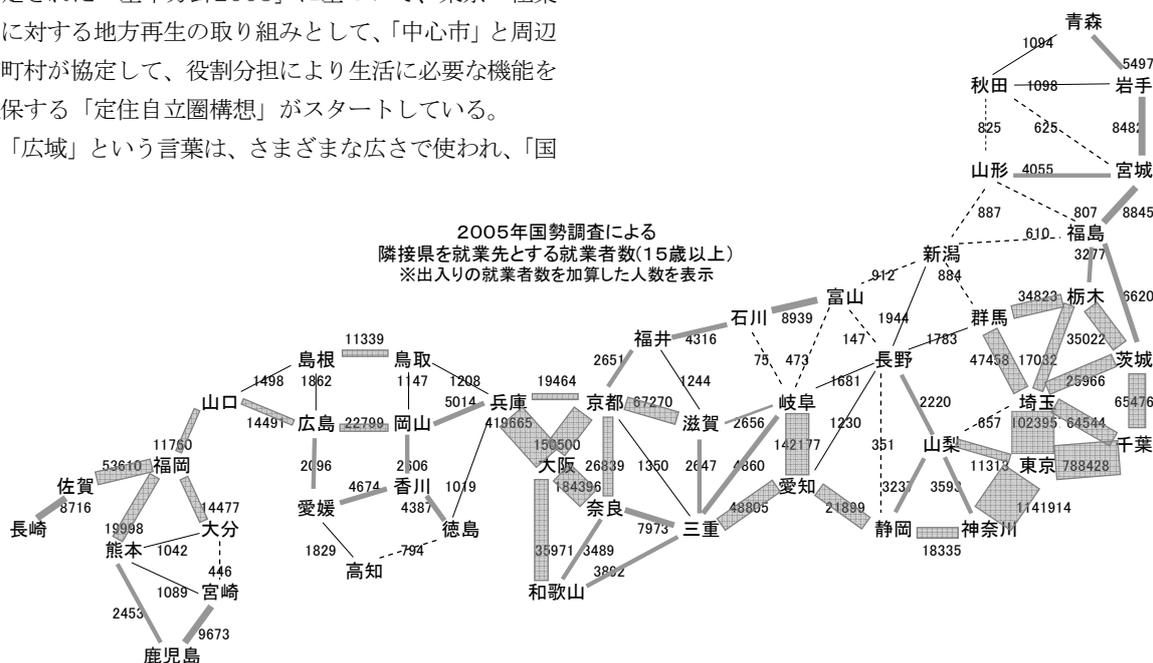
土形成計画(全国計画)」(=今年7月閣議決定)では、都道府県が束ねられて「広域ブロック」となる。

そして、ここでも、「合同協議会」や「分科会」が提示されているように、狭い広域でも広い広域でも、区域を限って線を引く以上、結局のところは、中心部と境界エリアができることは自体は避けられないし、それを巡ってのいろいろな視点からの思惑が交錯する。

このようなさまざまな「広域」を考えるに当たって、以下に、生活圏のひとつの側面である「就業地」について、都道府県をまたがる動きを確認することとした。

1. 隣接する都道府県間の相互乗り入れ

2005年国勢調査の「常住地による就業市区町村別15歳以上就業者数」によって、常住就業者が隣接する都府県(北海道と沖縄県を除いて検証した)を就業先とする人数を、隣接都府県ごとに合算して、以下のような図にした。例えば、青森県に常住して岩手県で就業している



常住就業者数に対する他都府県で就業している就業者数の比率(%)

		奈良 29.3		埼玉 28.51 千葉 27.31 神奈川 23.23	
		兵庫 14.1 京都 11.5			
佐賀 7.30		滋賀 10.9	岐阜 10.69	茨城 9.45 東京 7.01 栃木 6.20	
		和歌山 6.72 大阪 5.11	三重 6.13		
福岡 2.50	山口 2.63 鳥取 2.33 島根 2.20 岡山 2.20			群馬 4.88 山梨 3.21	
熊本 1.94 大分 1.53 長崎 1.45 宮崎 1.26 鹿児島 1.01	徳島 1.53 広島 1.41 香川 1.33 愛媛 0.86 高知 0.79		愛知 1.89 静岡 1.49 富山 1.29 石川 1.16 福井 1.09	宮城 1.56 岩手 1.54 福島 1.54 青森 1.05	
				長野 0.72 新潟 0.32	山形 0.64 秋田 0.53

人数が1,795人で、岩手県に常住して青森県で就業している人数が3,702人。これを合算した5,497人を、両県の間の相互乗り入れ人数として表示している。

また、各都府県の常住就業者数に対する、常住都府県以外（隣接に限らない）での就業者数の割合を上に表示した。

合わせて見ると、都府県をまたがる広域の通勤圏は、上の表にある他都府県5%以上の府県のように、東京圏

と大阪圏のほか、愛知県、福岡県で見られる。

また、5%未満の県で、大都市通勤圏によらず、県境を挟む地域での通勤圏としてのつながりが推測されるエリアとして、出入り合計8,000人以上のところを確認すると、最も目立つ北関東の[茨城-栃木-群馬]のほか、東北では[岩手-宮城-福島]、北陸で[富山-石川]、南関東・東海で[神奈川-静岡-愛知]、山陰で[鳥取-島根]、山陽から九州にかけては[岡山-広島-山口-福岡-熊本-長崎]まで、そして南九州の[宮崎-鹿児島]で、日本海側と太平洋側の通勤交流はかなり少ない。

また、個別の県では、秋田県、山形県、新潟県、長野県そして高知県で、特に県外とのつながりが薄い。

これについては、各県の産業構造自体の違いもあるほか、地形要因に伴う、都府県境の人口集積、交通ネットワークなどの県境地域の状況が、かなり反映されているものと思われる。

2. 市町村ごとの他県就業状況

上の国勢調査によって、三大都市圏の核都市への通勤圏以外で、自市町村通勤者比率が90%未満の市町村を対象にして、自市町村外に通勤する人数に占める他府県比率が40%を超える市町村を確認した。

□ 青森県と岩手県境については、青森県八戸市への通

		15歳以上 就業者	自市町村 比率	他県	外部中 他県	主要他県就業先
岩手県	軽米町	5,535	4,292 77.5%	510	41.0%	青森県 八戸市399
岩手県	種市町	5,788	3,581 61.9%	1,709	77.4%	青森県 八戸市1319・階上町269
栃木県	足利市	79,692	56,880 71.4%	17,460	76.5%	群馬県 太田市7960
群馬県	館林市	39,632	24,535 61.9%	6,226	41.2%	栃木県 佐野市1148・足利市1126
群馬県	板倉町	8,573	4,458 52.0%	1,804	43.8%	栃木県 佐野市232
群馬県	鬼石町	3,208	1,666 51.9%	653	42.3%	埼玉県 神川町239
茨城県	結城市	27,413	15,072 55.0%	7,031	57.0%	栃木県 小山市4505
茨城県	古河市	73,861	48,150 65.2%	17,668	68.7%	栃木県 小山市2094・野木町1659・(都区部5371)
栃木県	小山市	79,410	52,193 65.7%	12,366	45.4%	茨城県 結城市2392・古河市1952
栃木県	野木町	13,024	4,884 37.5%	5,716	70.2%	茨城県 古河市2204・(都区部1845)
埼玉県	北川辺町	6,978	2,521 36.1%	2,337	52.4%	茨城県 古河市700・(都区部788)
茨城県	五霞町	5,043	2,567 50.9%	2,130	86.0%	埼玉県 幸手市416・(都区部402)
埼玉県	幸手市	26,906	10,004 37.2%	7,462	44.1%	茨城県 五霞町1422・(都区部4610)
埼玉県	栗橋町	12,866	3,801 29.5%	4,082	45.0%	茨城県 五霞町602・(都区部2546)
茨城県	神栖市	46,758	38,069 81.4%	4,454	51.3%	千葉県 銚子市2040
千葉県	銚子市	36,391	27,670 76.0%	4,335	49.7%	茨城県 神栖市3598
千葉県	小見川町	12,570	6,352 50.5%	3,111	50.0%	茨城県 神栖市1112
千葉県	東庄町	8,227	3,843 46.7%	1,787	40.8%	茨城県 神栖市1078
茨城県	河内町	5,554	2,488 44.8%	1,232	40.2%	千葉県 成田市433
神奈川県	相模湖町	4,717	1,866 39.6%	1,758	61.7%	東京都 八王子市747
神奈川県	藤野町	5,084	2,085 41.0%	2,291	76.4%	東京都 八王子市733
山梨県	上野原市	13,273	8,162 61.5%	4,374	85.6%	山梨県 上野原市468
山梨県	大月市	13,976	8,014 57.3%	2,520	42.3%	東京都 八王子市1423 山梨県 藤野町513 東京都 八王子市841

勤圏が、岩手県種市町・軽米村に及んでいる。岩手県の二戸市、久慈市あたりまで、八戸市経済圏の色彩が強い。

- 栃木県と群馬県の県境をまたがって、栃木県足利市・佐野市・館林市と、群馬県太田市、桐生市が連なって大きな経済圏を形成している。
- 栃木県、茨城県、埼玉県の3県が接する茨城県古河市・結城市と栃木県小山市・野木町、そして埼玉県北川辺町は、東北本線に沿った古賀市や野木町で東京通勤者の割合もそれなりに高くなって来るが、エリアとしても県境を超えた通勤圏が見られる。
- 茨城県五霞町は、茨城県ではなく、埼玉県エリアを主要な通勤圏としている。その受け皿の埼玉県幸手市・栗橋市も、中心となる東京通勤以外に、五霞町への通勤者も見られる。
- 鹿島臨海工業地帯を構成する茨城県神栖市・鹿嶋市、特に千葉県隣接となる神栖市に、千葉県銚子市をはじめとした千葉県域との相互の通勤関係が見られる。
- 山梨県、東京都、神奈川県との接するエリアでは、東京都も区部は多数ではない（上野原市で944人）ものの、八王子市を含め、東京都方面とのつながるエリアとなっている。上野原市の甲府寄り隣接の山梨県大月市から上野原市へ1,202人、上野原市から大月市へは

649人で、大月市あたりまで東京都指向が強い。相模原市に合併した神奈川県相模湖町・藤野町から相模原市への通勤者は調査時点では461人・301人となっており、八王子市への半分程度。

- 静岡県に張り出した形になっている山梨県南部町は、西の静岡市方面ではなく、東の富士宮市ならびにその南隣接の富士市を通勤先としている。
- 浜名湖の西側になる静岡県湖西市は、北側に隣接する旧・三ヶ日町を含めた浜名湖対岸になる浜松市とほぼ同数の通勤者を、西隣の愛知県豊橋市に送り出している。浜松市は東隣接の磐田市とのつながりが強い。愛知県豊橋市は、東隣接の静岡県湖西市と、愛知圏内に隣接する渥美半島側の田原市、北隣接の豊川市との交流圏を作っている。
- 三重県名張市は、大阪市をはじめとした、奈良県～大阪方面への通勤が目立つが、奈良県側に隣接する室生村・曾爾村・御杖村は名張市とのつながりが強い。
- 三重県、奈良県、京都府、滋賀県の4府県境となる三重県伊賀市・滋賀県甲賀市エリアでは、村部から、奈良市を含めそれぞれ隣接する市部への県境を越えた通勤が見られる。
- 京都府南部の木津町、加茂町、笠置町、和束町、精華町は、近鉄奈良線経由での奈良市をはじめとする奈

		15歳以上 就業者	自市町村 比率	他県	外部中 他県	主要他県就業先
山梨県	南部町	4,624	2,906 62.8%	1,058	61.6%	静岡県 富士宮市416・富士市335
静岡県	熱海市	20,106	16,161 80.4%	2,229	56.5%	神奈川県 湯河原町686・小田原市453
静岡県	湖西市	24,294	16,988 69.9%	3,139	43.0%	愛知県 豊橋市2623
長野県	南木曾町	2,703	1,976 73.1%	493	67.8%	岐阜県 中津川市430
岐阜県	海津市	21,096	11,522 54.6%	5,183	54.1%	愛知県 名古屋市1442・桑名市1350
三重県	名張市	39,434	22,878 58.0%	8,779	53.0%	※大阪府 大阪市4276
奈良県	室生村	2,652	1,199 45.2%	583	40.1%	三重県 名張市203・(大阪市196)
奈良県	曾爾村	1,038	722 69.6%	161	50.9%	三重県 名張市122
奈良県	御杖村	1,040	725 69.7%	158	50.2%	三重県 名張市106
三重県	伊賀市	49,996	41,405 82.8%	3,962	46.1%	滋賀県 甲賀市657・(大阪市979)
京都府	南山城村	1,752	761 43.4%	746	75.3%	三重県 伊賀市341
奈良県	山添村	2,417	1,265 52.3%	604	52.4%	奈良県 奈良市209
京都府	木津町	18,127	4,647 25.6%	9,613	71.3%	三重県 伊賀市356
京都府	加茂町	7,689	2,642 34.4%	3,512	69.6%	奈良県 奈良市3733・(大阪市2630)
京都府	笠置町	874	402 46.0%	278	58.9%	奈良県 奈良市1390・(大阪市945)
京都府	京東町	2,561	1,499 58.5%	478	45.0%	奈良県 奈良市117
京都府	精華町	15,600	4,186 26.8%	6,903	60.5%	奈良県 奈良市224・(大阪市121)
三重県	紀宝町	3,425	1,477 43.1%	1,053	54.1%	奈良県 奈良市2047・(大阪市2131)
三重県	鵜殿村	2,166	916 42.3%	735	58.8%	和歌山県 新宮市953
和歌山県	新宮市	14,196	12,030 84.7%	1,019	47.0%	和歌山県 新宮市665
福井県	高浜町	5,802	4,077 70.3%	835	48.4%	三重県 鵜殿町257・紀宝町220・御浜町207・熊野市199
大阪府	能勢町	6,394	3,339 52.2%	1,445	47.3%	京都府 舞鶴市784
兵庫県	丹波市	35,422	29,570 83.5%	2,344	40.1%	兵庫県 川西市625・(大阪市527)
兵庫県	新温泉町	8,545	7,218 84.5%	553	41.7%	京都府 福知山市1682
						鳥取県 鳥取市410・岩美町119

- 良県や、大阪市などの大阪府とのつながりが、京都府以上に強い
- 三重県と和歌山県の県境部では、特に、和歌山県新宮市に隣接する三重県**紀宝町・鵜殿村**で、**新宮市**とのつながりが強い。その東隣の御浜町はその東に隣接する熊野市への通勤者が多い。
 - 福井県西端で京都府に接する**高浜町**は、同じ福井県では南側の**大飯町**（高浜町から421人）やその東隣接の**小浜市**（同665人）に町外通勤するが、京都府**舞鶴市**との関係も強い（大飯町から舞鶴市は110人にとどまる）。
 - 兵庫県**丹波市**と京都府**福知山市**では、丹波市から同県内隣接の篠山市への1,290人より多くが福知山市に通勤。一方、福知山市は京都府内で東に隣接する綾部市に2,305人と、丹波市への627人を上回り、丹波市→福知山市の方向が強い。
 - 兵庫県の日本海側**新温泉町**は、県内で隣接する香美町への488人に対し、鳥取県**鳥取市**へ410人、**岩見町**へ119人となっている。
 - 中海を囲む「中海圏」の鳥取県**境港市・米子市**、島根県**松江市・安来市**の4市間のつながりは県境を越えて強いが、中でも島根県安来市は、松江市と鳥取県米子市への通勤者が拮抗している。
 - 岡山県西部の**笠岡市・井原市**は、広島県**福山市**とのつながりが強く見られる。通勤者数20万人を超える福山市から、笠岡市・井原市への通勤は、合併した神辺町を合わせても5,191人。
 - 広島県と山口県境では、山口県**岩国市・和木町**（合併して岩国市）と広島県**大竹市**の結びつきが見られる。
 - 四国では、中国地方ほど大きなエリアではないが、表のような隣接自治体の通勤が成立している。
 - 福岡県と熊本県では、福岡県**大牟田市**を核に、熊本県**荒尾市・南関町**が通勤圏を形成している。
 - 福岡県東部では、大分県**中津市**から福岡県**豊前市**にかけて相互の通勤圏となっている。表にはないが豊前市（就業者12,565人）は中津市に1,564人。
 - 福岡県に張り出した形の佐賀県**鳥栖市**は隣接の福岡県**久留米市**ほか福岡県色が強い。
 - 島部の交通の縁では、愛媛県**上島町**と広島県**因島市**がフェリーで、長崎県**福島町**と佐賀県**伊万里市**が橋で結ばれている。
 - 鹿児島県**出水市**と熊本県**水俣市**は、それぞれ市内の割合が高いが、外部の勤務先としては相互に。
 - 宮崎県と鹿児島県を結ぶルートに沿って、宮崎県**都城市**と鹿児島県**曾於市**、宮崎県**串間市**と鹿児島県**志布志市**が、それぞれ、県境を挟む通勤圏を形成している。

		15歳以上 就業者	自市町村 比率	他県	外部中 他県	主要他県就業先
島根県	安来市	23,052	17,421 75.6%	2,508	44.5%	鳥取県 米子市2128
島根県	飯南町	3,116	2,706 86.8%	172	42.0%	広島県 三次市142
島根県	邑南町	6,716	5,859 87.2%	389	45.4%	広島県 北広島町206・三次市83
岡山県	笠岡市	25,795	14,462 56.1%	5,193	45.8%	広島県 福山市4753
岡山県	井原市	22,086	15,657 70.9%	3,013	46.9%	広島県 福山市2275
広島県	大竹市	13,906	8,623 62.0%	2,171	41.1%	山口県 岩国市1319・和木町609
山口県	岩国市	47,753	38,953 81.6%	4,913	55.8%	広島県 大竹市2285・広島市1748
山口県	和木町	2,970	1,082 36.4%	1,065	56.4%	広島県 大竹市746
愛媛県	上島町	3,501	2,584 73.8%	854	93.1%	広島県 因島市720 ※フェリー
徳島県	池田町	6,551	4,812 73.5%	771	44.3%	愛媛県 四国中央市478
愛媛県	愛南町	11,680	10,259 87.8%	684	48.1%	高知県 宿毛市396
高知県	東洋町	1,325	1,019 76.9%	231	75.5%	徳島県 海南町90
福岡県	大牟田市	53,248	41,410 77.8%	5,263	44.5%	熊本県 荒尾市2251
熊本県	荒尾市	23,416	12,131 51.8%	6,602	58.5%	福岡県 大牟田市5456
熊本県	南関町	5,521	3,306 59.9%	995	44.9%	福岡県 大牟田市717
福岡県	吉富町	3,238	1,106 34.2%	1,099	51.5%	大分県 中津市985
福岡県	新吉富村	2,000	814 40.7%	518	43.7%	大分県 中津市459
福岡県	大平村	1,855	805 43.4%	536	51.0%	大分県 中津市470
大分県	中津市	40,273	32,971 81.9%	4,443	60.8%	福岡県 豊前市1609
佐賀県	鳥栖市	30,972	19,046 61.5%	7,591	63.7%	福岡県 久留米市2574・福岡市2427
佐賀県	太良町	5,671	4,192 73.9%	596	40.3%	長崎県 諫早市364
長崎県	福島町	1,492	966 64.7%	467	88.8%	佐賀県 伊万里市365 ※橋
熊本県	水俣市	12,757	11,244 88.1%	781	51.6%	鹿児島県 出水市564
鹿児島県	曾於市	20,987	15,596 74.3%	3,613	67.0%	宮崎県 都城市3218
宮崎県	串間市	10,296	8,815 85.6%	736	49.7%	鹿児島県 志布志市559

3. 三大都市圏通勤状況

3-1. 就業地を東京23区とする割合

首都圏の市町について、その就業者に対する、東京23区を就業地とする割合が10%を超えるところを表示した。鉄道沿線市町について、都心30-40km圏で10%台、20km圏で30%台といった傾向にある。

市町村の就業者に対する就業地23区の割合(%)

東京都	埼玉県	栃木県
武蔵村山市 10.3	北川辺町 11.3	野木町 14.2
東大和市 18.2	大利根町 12.9	
東村山市 30.4	栗橋町 19.8	茨城県
小平市 31.7	鷲宮町 20.3	伊奈町 10.9
清瀬市 34.6	久喜市 18.9	龍ヶ崎市 16.1
東久留米市 36.4	白岡町 22.4	守谷市 18.4
西東京市 46.8	蓮田市 24.1	牛久市 18.7
福生市 10.7	鴻巣市 15.9	利根町 21.6
昭島市 15.4	北本市 18.5	取手市 26.5
八王子市 16.2	桶川市 19.7	
日野市 22.9	伊奈町 14.7	千葉県
立川市 18.4	上尾市 21.0	栄町 14.5
国立市 28.2	さいたま市 28.8	野田市 14.0
国分寺市 35.7	川口市 32.8	我孫子市 34.1
小金井市 42.5	蕨市 39.7	柏市 31.4
三鷹市 42.6	鳩ヶ谷市 32.7	流山市 33.2
武蔵野市 47.9	戸田市 37.7	松戸市 38.4
町田市 23.9	東松山市 10.5	酒々井町 12.5
多摩市 30.1	鳩山町 17.0	印旛村 13.9
稲城市 31.3	坂戸市 15.4	本埜村 20.2
府中市 28.4	鶴ヶ島市 18.5	佐倉市 22.7
調布市 45.3	川越市 18.2	印西市 25.6
狛江市 51.0	ふじみ野市 28.0	白井市 29.3
	三芳町 27.5	鎌ヶ谷市 28.5
	富士見市 32.7	大網白里町 12.8
神奈川県	志木市 37.1	四街道市 17.8
海老名市 10.6	朝霞市 39.4	千葉市 22.1
座間市 12.6	和光市 52.3	八千代市 28.8
相模原市 13.0	飯能市 11.9	習志野市 35.6
大和市 14.8	入間市 17.7	船橋市 37.9
二宮町 10.2	狭山市 17.6	市川市 49.2
大磯町 11.8	所沢市 28.3	浦安市 54.0
茅ヶ崎市 14.4	新座市 35.7	
藤沢市 14.0	幸手市 17.1	
葉山町 20.0	杉戸町 18.1	
逗子市 23.4	宮代町 22.3	
鎌倉市 24.3	春日部市 23.5	
横浜市 23.6	越谷市 30.8	
川崎市 34.8	草加市 40.3	
	松伏町 16.6	
	吉川市 20.6	
	三郷市 27.7	
	八潮市 26.6	

3-2. 大阪府通勤圏

大阪市ではなく「大阪府」に10%以上が通勤する市町村を見ると、三重県の名張市(14.7%:大阪市10.8%)を含め、京都府、奈良県、兵庫県、和歌山県の5府県に広がっている。大阪-神戸はそれぞれの市役所基点で直線30km、また大阪-名張(名張-鶴橋は快速急行で約60分)は同60km近い。

各府県の大阪府での就業者数は、兵庫県331,436人、奈良県162,132人、京都府93,569人、そして和歌山県34,068人、三重県8,449人の順。

市町村の就業者に対する就業地大阪府の割合(%)

京都府	奈良県	三重県
向日市 13.0	奈良市 28.7	名張市 14.7
長岡京市 18.6	生駒市 51.5	
大山崎町 24.2	三宅町 16.2	奈良県
八幡市 37.4	広陵町 27.6	高取町 12.3
京田辺市 24.4	河合町 38.2	明日香村 13.3
加茂町 18.9	平群町 42.1	橿原市 17.7
木津町 21.9	大和郡山市 21.3	田原本町 15.0
精華町 22.7	安堵町 30.3	川西町 16.0
	斑鳩町 34.3	御所市 14.4
	上牧町 37.4	葛城市 23.8
	王寺町 42.9	
	三郷町 43.9	和歌山県
兵庫県	室生村 10.3	岩出町 12.9
神戸市 10.2	榛原町 18.1	九度山町 15.7
芦屋市 34.8	桜井市 16.9	高野口町 12.6
西宮市 31.4	大和高田市 22.9	橋本市 35.0
尼崎市 27.9	香芝市 41.1	
三田市 19.7		
猪名川市 38.8		
宝塚市 34.0		
川西市 44.4		
伊丹市 23.9		

3-3. 愛知県通勤圏

隣接県で、通勤者の10%以上が、愛知県(名古屋市に限らない)に通っている市町村を見ると、以下のようになっている。

- 静岡県; 豊橋市に隣接する湖西市(12.7%)
- 岐阜県; 県南部の瑞浪市から海津市まで、愛知県に直接隣接する市町で2桁になっている。2割を上回るのは、多治見市(29.5%:名古屋市17.7%)を筆頭に、可児市(26.1%:同10.9%)、各務原市(20.1%:同8.2%)の3市。
- 三重県; 愛知県に隣接する木曾岬町(41.4%:名古屋市21.1%)、桑名市(19.6%:同15.8%)、そしてそれに続く東員町(16.0%=同13.9%)、朝日町(14.5%:同12.1%)。隣接の川越町も9.6%(同7.9%)とほぼ2桁。

補足1. 静岡県の東京圏・中部圏区分

静岡県の市町の就業先を、単純に「東京都+神奈川県」と「愛知県」の大小で見ると、菊川市・掛川市以西で「愛知県」が多く、焼津市・藤枝市以東で「東京都+神奈川県」が多い。この間はそれぞれの数字が小さい市町が並び、その中間帯と見られるエリアの東部には「大井川」が流れている。

補足2. 三重県における中部圏と近畿圏

名張市と伊賀市で、「愛知県」就業者より「奈良県+大阪府」就業者が多い。名張市は愛知県123人：奈良県2,370人+大阪府5,776人で、同市の就業者に占める「奈良県+大阪府」比率は20.7%と高い。また伊賀市は128人：1,041人+1,410人で近畿圏が多いが、伊賀市の就業者に占めるその比率自体は4.9%に止まっている。

なお、県南で和歌山県と隣接するエリアの4町は和歌山県と繋がる。

3-4. 仙台・広島・福岡**3-4-1. 仙台市通勤圏**

仙台市に隣接する北側の富谷町（仙台市を就業地とする就業者割合53.4%）、利府町（同44.1%）、多賀城市（同43.3%）、また南隣接の名取市（同42.2%）で、ベッドタウンの色彩が特に強い。10%ラインは、北は東北本線の小牛田町（同10.7%）、道路では国道4号でより仙台市寄りの大衡町（同17.3%）、南は常磐線の山元町（同16.2%）・東北本線では大河原町（同10.0%）あたりまで。宮城県南端の山本町から常磐線で福島県の新地町に入ると、仙台市通勤者は5.1%に急減する。

3-4-2. 山陽地方事情

兵庫県を大阪府通勤と岡山県通勤の多少で分けると、たつの市あたりで拮抗、相生市や赤穂市、佐用町、上郡町といった岡山県隣接部で岡山通勤が多くなる。

同様に岡山県を広島県と兵庫県で見ると、岡山市を含めて岡山市以西で広島市が多い。

広島県は中央の竹原市を分岐点に、広島市を含めて東広島市以西で山口県、三原市以東で岡山県が多くなる。大竹市は2,122人で同市の15.3%が山口県通勤。

広島市を就業先とする比率は海田町（41.9%）、坂町（40.4%）、廿日市市（40.3%）で高く、その他10%を上回る市町は、熊野町、大竹市、安芸太田町。

山口県では下関市を筆頭に、宇部市、山陽小野田市、長門市で広島県より福岡県が多い。なお、下関市は福岡県に5,752人通勤しているが、市の通勤者137,200人の91.6%が市内通勤者で、福岡県へは4.2%と比率は高

くない。

3-4-3. 福岡市への通勤圏

玄界灘の沿岸平野部で、岡垣町までは北九州市への通勤が多いが、宗像市（福岡市21.2%・北九州市9.5%）以西、東隣接の新宮町（福岡市43.2%）や粕屋町（同43.6%）、西隣接の前原市（同46.6%）や南隣接の那珂川町（同44.8%）をはじめ、福岡平野部が福岡市への通勤圏となっている。南は小郡市（同20.6%）ならびに隣接の佐賀県基山町（同18.0%）・鳥栖市（同23.8%）辺りまでと見られる。久留米市居住者は福岡市で8,509人が就業しているが、同市の就業者の5.9%に止まる。